

津市放課後児童クラブの概要について

1 事業の内容、目的

保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後等に小学校の余裕教室等を利用して適切な遊び及び生活の場を提供し、指導員の活動支援のもと、その健全な育成を図る事業です。

2 放課後児童クラブの現状

本市の放課後児童クラブは、60クラブ（公設民営45、民設民営15）あり、2,667名の児童（平成30年4月1日現在）が、放課後に異学年集団の中で遊んだり、学習したりして過ごしています。これらの放課後児童クラブに対して、運営費の補助や施設の整備、また、支援員等の資質向上のための研修等などの支援を行っています。

3 運営費補助金と受入児童数の推移

	H26	H27	H28	H29	H30
児童数（人）	2,000	2,144	2,310	2,499	2,667
補助金額（千円）	238,444	286,175	348,292	451,374	500,647

（H26～H29 は実績額、H30 は予算額）

4 施設整備計画

	クラブ名	H30	H31	H32	整備場所
(1)	上野放課後児童クラブ	設計	工事		上野小学校体育館 ミーティングルーム
(2)	新町地区放課後児童クラブ	工事			新町小学校余裕教室
	同：現施設解体 駐車場整備	設計 設計	工事 工事		新町地区放課後児童クラブ現施設
(3)	観音寺地区放課後児童クラブ	工事			三重大学附属小学校敷地内
(4)	一志東地区放課後児童クラブ	工事			一志東小学校多目的ホール
(5)	棕本地区放課後児童クラブ		設計	工事	芸濃保育園跡地

5 支援員等の資質向上

放課後児童支援員等として、必要な知識及び技能を習得し、資質向上を図ることを目的に行政研修（平成29年度7回）及び研究大会（平成29年度2回）を実施しています。

6 課題・懸案となっている事項

小学校児童が減少する一方で、放課後児童クラブの利用者は年々増加傾向にあり、狭あい化に伴う施設整備を進めていく必要があります。

また、放課後児童支援員に対する処遇改善等を図り、放課後児童支援員の安定的な確保を図る必要があります。

公設民営の放課後児童クラブは、保護者会等が運営をしており事務負担が大きいことから負担の軽減が求められています。